

小酒井不木 （小酒井 不木） 小説家、隨筆家。明治二十二年十月八日愛知縣生  
れ、昭和四年四月一日歿（二八〇—一九元）。本名光次。別號不木軒主人、  
寫井零水。大正二年東京帝國大學醫科大學卒。血清學、生理學專攻、  
醫學博士。六年東北帝大助教。歐米留學後教授も、略血して辭職。  
爾來療養の傍ら醫學隨筆、次（ついで）小説と雜誌「新青年」に、可大衆文藝に  
等しく發表。『小酒井不木全集』全十七卷（昭和四年—五年改造社）が  
ある。

著譯書 『生命神秘論』（本名、大正四年八月—二十五年洛陽堂）、『曲  
洋醫談』附不木軒隨筆（大正十二年七月十八日克誠堂書店）、『殺  
人論』（再版、大正十二年九月）『東京文社』、『近代犯罪研究』  
（大正十四年五月）『春陽堂』、『學者氣質』（大正十五年六月十  
八日春陽堂）、ドウーゼ作『探偵生ける寶冠』（怪奇）（譯、大正十五年八月  
二十四日博文館『探偵傑作叢書』）、『劇術』（大正十五年八月—  
十八日春陽堂）、『創作探偵小説選集・第二輯』（一九二七年版）『合  
著・探偵趣味の會』正井大郎編、昭和二年一月一日春陽堂）、『醫談  
女談』（昭和四年七月十五日京都・人文書院）、『近代戀愛術』（合  
著・新青年編輯部編、昭和四年七月  
二十一日博文館『新青年叢書』）等。

